

4年前に書いたレポートです。遅くなりましたが、御参考資料として発表させていただきます。

株式会社 開倫塾
取締役社長 林 明夫
www.kairin.co.jp

足利銀行一時国有化とコーポレート・ガバナンス

足利銀行一時国有化の原因の1つは、コーポレート・ガバナンスの欠如

1. 足利銀行内部のガバナンス欠如

- | | | |
|------------|---|----------|
| (1)株主総会 | } | ノー・ガバナンス |
| (2)取締役会 | | |
| (3)監査役 | | |
| (4)経営諮問委員会 | | |
| (5)従業員(社員) | } | 役割を果たさず。 |
| 内部告発制度 | | |
| (6)労働組合 | | |

2. 機関投資家……栃木県、県内市町村、大学等……機関投資家としてのガバナンスの役割を果たさず。メイン・バンクとしての日本銀行……支店が栃木県内になし。

3. 地域経済界……ガバナンスの議論はタブー。(今だに)

マスコミ ……知識なし。問題提起に到らず。

学会 ……開かれず。(今だに)

<原因>

- ・人口200万人の県の割には、経済が絶好調すぎたためか。イケイケドンドンの emerging countries 新興諸国と同じノーガバナンスの状況に陥ってしまった。
- ・本当は、ごく少数の進出企業(国際企業)の恩恵を受けているだけなのに、誰も見抜けない。本質を見ようとしなかった。そのツケがまわってきたのが、足利銀行一時国有化。

— 2008年4月14日記一